

とよたテラス

皆様にご愛読いただいております広報誌の表題「医療センターだより」が、「とよたテラス」へと変わりました。

「とよたテラス」の意味は、人が穏やかに集う開かれた場所としての「テラス」という意味と、スポットをあてるといった「照らす」という意味が込められています。開かれた明るい空間で様々な情報や活動が共有される場をイメージしました。

特集

「アレルギーセンター」を 開設しました



三河地区のアレルギー疾患の悩みをなくすため、令和5年10月1日にアレルギーセンターを開設しました。

アレルギー疾患は国民の2人に1人が罹患していると言われており一方で三河地区にはアレルギー疾患対策の中心的役割を担う「愛知県アレルギー疾患医療拠点病院」がありません。

三河地区において拠点病院に準じた役割を担い、将来的には拠点病院の認定を目指していくとともに、アレルギー患者に優しい病院づくりを進めていきます。

- こんなお困りごとはありませんか？
- 在宅医療のご案内
- 総合相談窓口を開設しています
- オレンジカフェ・クローバーとは？
- 自宅でする！転倒予防運動
- 病院からのメッセージを発信中！
- 外来診療実施状況
- 看護師採用情報

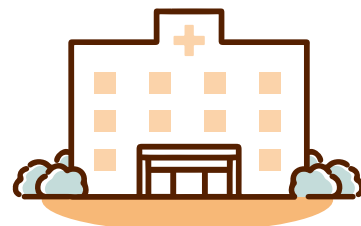
令和5年10月1日

特集

アレルギーセン

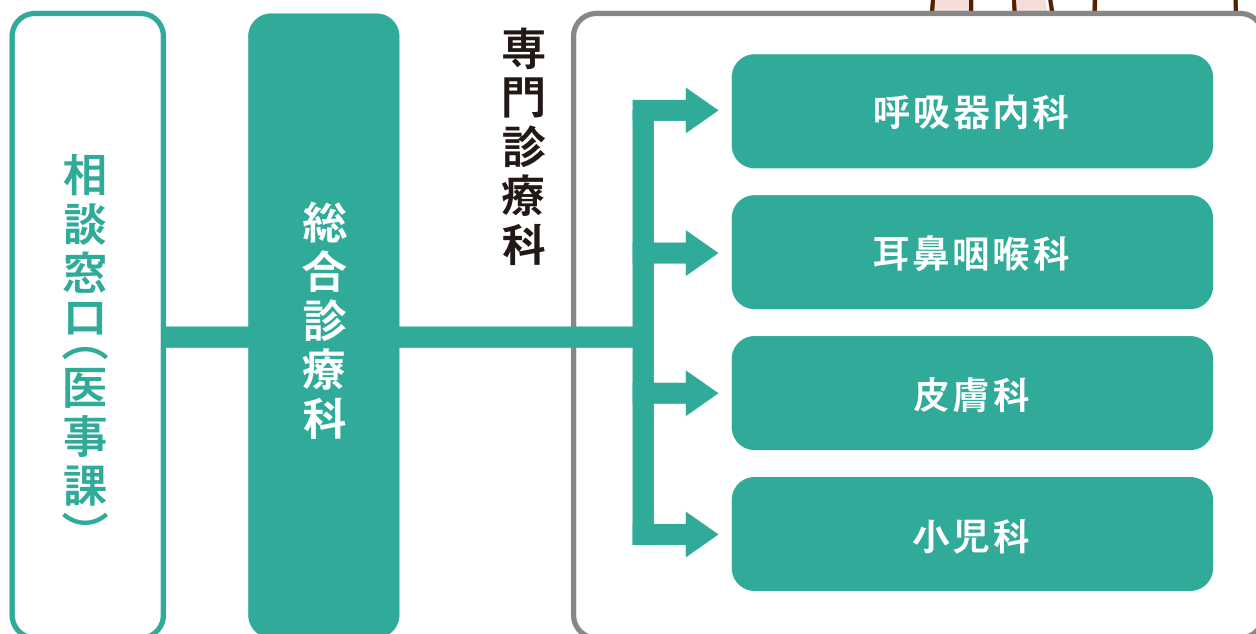
アレルギーセンター

ぜんそくや食物アレルギーなどさまざまな症状がある患者様を呼吸器内科や皮膚科など複数の科が連携を取って診療を行い、重症や難治性のアレルギー疾患の治療に取り組みます。



受診の流れ

初めて受診される場合、まず総合診療科に受診いただきます。鑑別に必要な検査・診察を行った上で、適切な専門診療科へご紹介いたします。 ※直接、専門診療科をご案内する場合があります



お問い合わせ先 | 医事課 TEL.0565-34-3006

ターを開設しました

こんなときはご受診ください

呼吸器 内科



喘鳴

(胸がゼーゼーヒューヒュー鳴る)



慢性的な咳や痰



労作時の息切れ

耳鼻 咽喉科



鼻水・鼻づまり・後鼻漏



目のかゆみ

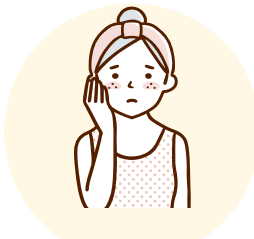


喉のイガイガ感

皮膚科



皮膚のかゆみ・かぶれ



肌荒れ・乾燥



湿疹

小児科



食物アレルギー



アトピー性皮膚炎



呼吸のしにくさ

こんなお困りごとはありませんか？

困りごと

1

足腰が弱ってきて、通院が大変

家の階段を下りるのが大変、車に乗り込むのが大変、病院では車いすを利用する、病院の待合で長時間待っているのが辛い…などなど、体の機能が衰えてくると徐々に外出が難しくなってきます。定期的な通院が良いリハビリになることもありますが、通院に苦勞しているときには自分の家に医師が訪問する訪問診療をご利用いただけます。



困りごと

2

認知症で本人が外来にかかりたがらない

足腰は元気でも、認知症によってご自身が通院が必要であるということがわからなくなってしまう方もいます。また、認知症の方は通院しようという意思があっても、バスの使い方がわからなかったり、車の運転ができなかったりして家族が目を見守りながら一緒に通院せざるを得ない場合も多いです。そういったおひとりで通院できない方は訪問診療をご利用いただけます。また、ご家族の認知症でお困りの方はお住まいの地域の包括支援センターへのご相談もお勧めです。



困りごと

3

外来通院には必ず家族の同伴が必要

(たまに家族だけで医師に相談に行く)

上記のように認知機能の低下や、足腰の弱り(日常生活動作の低下)を伴う患者様は、おひとりでの通院が難しく、ご家族が通院に同伴していることが多いかと思います。時にはご本人を連れていくことが難しく、家族だけで医師に相談をしに行くときもあるかもしれません。そういった患者様は訪問診療導入のタイミングです。医師が家に訪問しますので、動けなくてもしっかり医師の診察を受けることができます。



困りごと

4

独り暮らしで施設の入居も考えている

同様に加齢による足腰の不安や認知機能の不安を覚えつつ、頼る家族が身近にいらっしゃらないおひとり暮らしの患者様も増えています。こういった方もおひとりでの通院が難しければ訪問診療の導入が可能です。

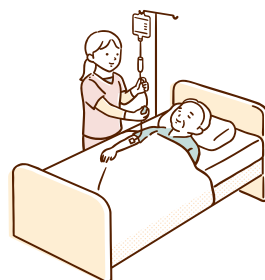


困りごと

5

がんの診断を受け抗癌化学療法が始まった

現在高次医療機関に通院しながらがんと闘っている患者様も、高次医療機関の主治医の先生と一緒に訪問診療医が併診することができます。日常の体調に関する細かい相談は訪問診療医に行い、定期的な高次医療機関への通院も継続していただけます。また、必要に応じて訪問診療医が高次医療機関の主治医と連絡を取り合い互いに情報提供をすることで、より患者様にあった医療を提供することができます。



在宅医療のご案内

24時間365日

住み慣れた場所で

安心して暮らせる

在宅医療を提供します



対象となる方

- おひとりでの通院が難しく、家族や介護者の助けを借りないと通院できない方
- けが、病気、年齢により寝たきりになってしまった方
- 入院ではなく自宅での療養生活を送りたい方
- 自宅や有料老人ホームなど、医師が直接伺って医療を提供できる場所にお住まいの方（老人保健施設などへは訪問できません） など

※年齢や疾患による制限はありません（小さなお子さんや、若年の患者様も訪問可能です）

ご利用手順

01 お電話でご相談

まずはお電話でご相談ください。 TEL.0565-34-3095



02 ご来院 **ご自宅療養中の方**

患者様の具体的な症状や現在までの経過をお伺いし、訪問診療が可能かどうかなどのご相談をさせていただきます。

情報共有 **入院中の方**

ご家族と共に、当院の医師・看護師、入院中の病院側の医師・看護師、時には訪問看護ステーションの看護師、ケアマネジャーも参加し、安心して在宅医療を始めていただけるように情報共有を行います。

03 ご契約

訪問診療計画を作成します。患者様の状況に応じて、訪問回数や訪問内容を細かく設定いたします。また、定期訪問スケジュールを、介護保険サービスなども考慮の上、ご家族と相談して計画します。病状によっては訪問看護・訪問リハビリ・訪問薬局が必要な可能性もあるので、その場合はそれぞれのサービス導入をご提案させていただきます。

04 訪問診療スタート

事前に計画した訪問診療計画に従い、訪問診療を開始します。

お問い合わせ先 | 在宅医療支援センター TEL.0565-34-3095



総合相談窓口を開設しています

医療・介護に関する不安や疑問を少しでも解消できるようお手伝いします。相談担当者（保健師、看護師、社会福祉士）が対応いたします。

プライバシーは厳守しますので、安心してご相談ください。



利用方法

相談を希望される場合は、直接 地域医療連携室窓口（診療棟1階）へお越しください。

※事前にご連絡いただくと、待ち時間なく相談いただけます。※相談は無料です。

対応時間

月～金曜日 8:30～16:00

土曜日 8:30～11:00

お問い合わせ先

地域医療連携室 TEL.0565-34-3333

オレンジカフェ・クローバーとは？

オレンジカフェ・クローバー（認知症カフェ）は、認知症ご本人やご家族、その他にも認知症に関心がある方どなたでもご参加いただける集いの場所です。

もの忘れ外来の先生によるお話があり、その先生に個別で相談もできます。

もちろん、歓談の時間もあり参加者同士の交流も深めています。医療センター内のほがらかふえの一角で何でも話せる語らいの場としてゆったりとしたひとときを一緒に過ごしませんか？

開催時間 毎月第2金曜日/14:00～15:30

お問い合わせ先 豊田地域ケア支援センター
TEL.0565-34-3209



自宅でできる! 転倒予防運動

寒さを吹き飛ばせ! 転倒しない体作りをしよう!! 寒くなり運動する機会が減りやすい季節になってきましたね。

自宅で簡単にできる体操をご紹介します。転倒なく安全に過ごせるように取り組んでいきましょう!

つま先の上げ



両膝を軽く伸ばした状態でつま先を上げます。
つま先はなるべく大きく持ち上げます。

10回×3セット

かかとの上げ



両膝を90°曲げて、大きくかかとを上げます。
ふくらはぎの運動になります。

10回×3セット

足首を回す



膝を伸ばしたまま、足首を大きく左右へ回しましょう。
膝や足の付け根は動かさないようにします。

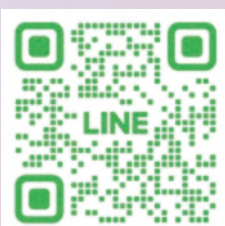
10回×3セット



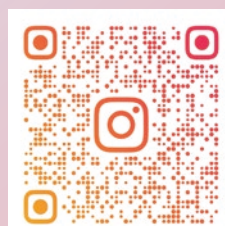
LINE・Instagramにて

病院からのメッセージを 発信中!

LINE



Instagram



チェックしてね!



外来診療 実施状況

診療時間

平日／9:00～17:00

土曜日／9:00～12:00

休診日／日曜日、祝日、年末年始

救急診療は
24時間
受入れ体制

※●印は診療をおこなっています

●お問い合わせ先／医事課 TEL 0565-34-3006

診療科目		月	火	水	木	金	土
内科一般	午前						● ※当番制
	午後	●	●	●	●	●	● ※1・2・5週
総合診療科	午前	●	●	●	●	●	● ※1・2・5週
	午後	●	●	●	●	●	
消化器内科	午前		●			●	● ※3・4・5週
	午後	● ※1・3・5週					
循環器内科	午前				●		
	午後	● ※1・3・5週					
呼吸器内科	午前			●			●
	午後	●	●	●	●	●	
神経内科	午後			●	●		
	午後			●	●		
小児科	午後			●			
	午後			●			
皮膚科	午前					● ※2・4週	
	午後						
外科	午前	●	●	●	●	●	●
	午後	●	●	●	●		●
整形外科	午前	●	●	●	●		●
	午後						
呼吸器外科	午前					●	
	午後						
脳神経外科	午前	●		●			
	午後		●		●		
リハビリテーション科	午後		●		●		
	午後					● ※2・4週	
泌尿器科	午後					● ※2・4週	
	午後	●			●		
耳鼻咽喉科	午後	●			●		
	午後						

令和6年1月現在

看護師
募集中

私たちは、心のこもった患者様中心の看護を提供します。

私たちと一緒に働きませんか？

病院見学のご案内

「看護部採用サイト」内の「病院
見学エントリー・採用お問い合
わせ」よりお申込み下さい。

看護部採用サイト▶



詳細は
QRコードより
ご確認
下さい



お問い合わせ先 | 総務課 TEL.0565-34-3051

編集・発行

豊田地域医療センター

〒471-0062 愛知県豊田市西山町3-30-1

TEL 0565-34-3000 (代)

FAX 0565-35-2841

https://www.toyotachiiki-mc.or.jp/



HPはこちら

病院理念

私たちは、医療・保健・福祉を通して、地域のみなさまの生命を守り、健康で生きがいのある生活を支援します。

基本方針

- 1 救急医療から慢性期医療・在宅支援まで、患者様の立場にたった総合的医療を提供します。
- 2 健診事業の充実を図り、疾病の予防・早期発見を通して、地域のみなさまの健康増進に努めます。
- 3 地域の医療機関との連携を密にして、患者様に適切な医療サービスを提供します。
- 4 良質な医療を提供するために、働きがいのある職場環境を整え、医療技術と知識及びモラルの向上に努めます。

令和6年1月